

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねに来れている状況ではない。	コロナ禍が落ち着いた際には、改めて外部や地域との交流を密に、積極的に行い、より気軽に施設への訪問や慰問行事への参加、見学の場となりたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・慰問行事が再開の際には、外部や地域の方々に広く周知を行う。（外部に向けてのポスター等） ・地域資源の場やグループホーム周囲での挨拶や交流の機械を職員一人一人が丁寧に積極的に行い、関係作りに努める。 	6カ月～12カ月
2	60	利用者様が行きたい所に出掛けられていない。	少しでも行きたいところにいけるように支援を行う。また見たいもの、感じたいことなど要望を掴みながら、より満足感を得られるような取り組みを心掛ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の行きたい所等の要望の確認を行う。 ・要望をまとめる。 ・コロナ禍であるため、実際に現地に赴く事が出来なくても車で近くを通り車内より見学して頂く等、感染対策も意識しながら目標達成に取り組む。 	6カ月～12カ月
3	56	希望や訴えの多い、聞き取りし易い利用者様の思いや願い、暮らしの意向は掴めているように感じられているものの、日々変化する認知症の症状、状態により思いや意向の変化があるため全体的に願いや意向を掴めているのかは曖昧である。	利用者様一人一人の思いや願い等を把握し、より良いケア支援提供に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の思いや願い等の聞き取りを行う。 ・口頭での引継ぎ以外に情報の見える化を行う。情報共有の工夫を行う。 ・見える化を行う事により支援への活用が見込める。また実現や維持に向け可能な限り努力する。 	6カ月～12カ月
					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)